事例No.	241
公表年度	H28
団体の属性	一般市
団体名	群馬県太田市

事例区分	公営企業

タグ	・（公営企業）水道事業 ・（行政改革）業務の効率化 ・公共施設活用

事例種類	民間活用

事例内容・タイトル

「水道事業の包括的民間委託」（公募型プロポーザル）

出典

地方公営企業の抜本的な改革等に係る先進・優良事例集

○ 事例名等

事例名	水道事業の包括的民間委託
団体名	群馬県太田市
事業名(事業区分)	上水道事業(末端給水)

○団体及び事業の概要

行政区域内人口(人)	223,424	行政区域内面積(㎢)	175.5
供用開始年月日	昭和14年10月1日	給水人口(人)	222,560
施設利用率(%)	71.2	有収率(%)	86.0
職員数(人)	19	営業収益(千円)	4,323,299
営業費用(千円)	4,030,944		

※表中の計数はH28年3月末時点

1. 取組の背景、検討を開始した契機・導入過程

(1)取組の背景
①昭和58年度に群馬県北部にある四万川ダムの建設事業への参画や、平成2年度に渡良瀬浄水場建設事業を実施したことにより、合計で約150億円の大規模な投資を行った。その結果、減価償却費や支払利息の増加により毎年4億円以上の経費が増えることになった。その後、料金改定を実施したが財政状況が改善しなかったことから、事業経営の抜本的な改革を迫られることになった。
②平成14年度までに浄水場維持管理業務、漏水修繕業務及び料金徴収業務については業務委託を実施しており、経費削減につとめていたが、さらなる経費の削減を求められることになった。
③「2007年問題」に代表される水道職員の大量退職や、人事異動に伴う技術の継承問題、お客様満足度の向上、窓口サービスの向上といった問題の解決策を検討していた。

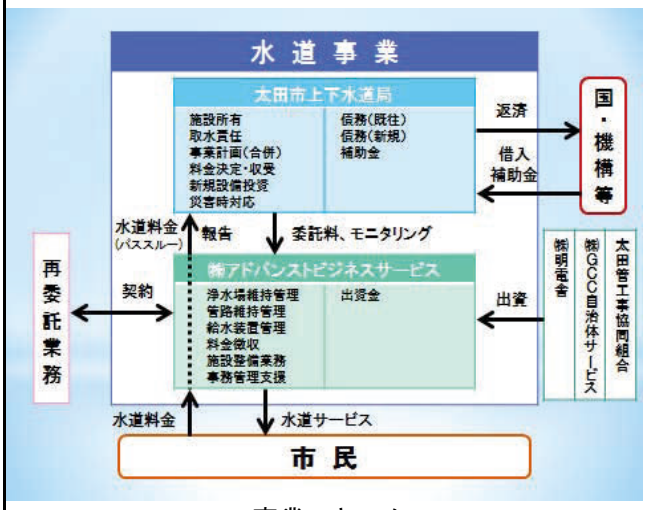
(2)検討を開始した契機・導入過程
①平成16年8月に「太田市水道事業最適運営形態検討研究会」を設置する。
【太田市水道事業最適運営形態検討研究会】…水道総務課・工務課・給水課・水づくり課の指名された職員8名で構成
②平成16年11月に一般社団法人日本経済研究所に最適化運営形態調査を委託する。
③平成17年1月に「太田市水道事業最適運営形態調査に関する報告書」が提出される。この報告書の中で「現在の民間委託の範囲拡大及び一本化を図り、各種業務を包括的に委託すべき」との結論に至った。
④平成18年5月に「運営形態検討会議」を設置し、包括業務委託内容について検討を開始する。
【運営形態検討会議】…係長クラス以上の職員16名で構成。
⑤平成18年8月に「太田市水道事業包括業務委託プロポーザル実施要領」を作成。
⑥平成18年12月に包括業務委託公募型プロポーザルを実施。
⑦平成19年4月から第1期包括業務委託を開始。
⑧平成23年7月に株式会社M研究所に第三者評価業務を委託する。調査結果の妥当性について、3名の外部有識者によるヒアリングを実施したところ、包括業務委託の目的は概ね達成されていると評価された。
⑨平成24年4月から第1期包括業務委託に施設整備業務を含めた第2期包括業務委託を開始。
⑩住民説明会は開催せず、広報誌を活用し、事前に周知を図った。議会については、包括業務委託実施にあたり専門委員会で経過説明等を実施した。

2. 取組の具体的内容とねらい、効果

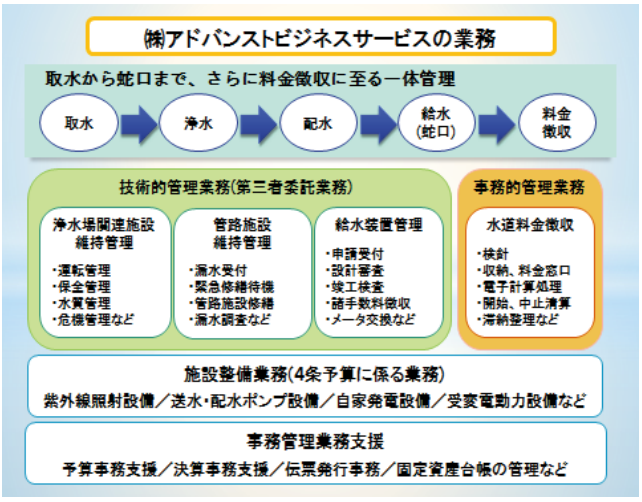
(1)取組の具体的内容とねらい

①包括業務委託の実施

これまで個別に契約していた、浄水場維持管理業務、管路維持管理業務、給水装置管理業務、水道料金徴収業務、総務系支援業務を同一業者と一括で契約することで、経費削減と業務の合理性・効率性の向上を図った。



事業スキーム



第2期包括業務委託の内容

(2)効果

①職員の削減

包括業務委託の実施に伴い、職員52名体制から初年度34名、平成27年度では24名となり、合計28名の職員削減を達成した。また、削減された職員の業務を、42名の委託先社員が行っており、業務担当者が増加したことで、業務の迅速化が図られるとともに、技術の継承、事業の安定化につながった。

②経費の削減

第1期包括業務委託(平成19年度から平成23年度)における経費の削減効果を試算したところ、約7億円であった。

(単位:千円)

年度	直営で実施	委託業者が実施	効果額
平成19年度	1,350,000	1,099,200	250,800
平成20年度	1,350,000	1,245,807	104,193
平成21年度	1,350,000	1,293,358	56,642
平成22年度	1,350,000	1,207,516	142,484
平成23年度	1,350,000	1,200,606	149,394
合計	6,750,000	6,046,487	703,513

③市民満足度の向上

太田市が年に一度実施している市民満足度調査において、水道事業に対する市民の満足度は年々向上している。

3. 他の自治体の参考となる点、今後の課題等

(1)他の自治体の参考となると考えられる点

①委託業者の選定方法

プロポーザルを実施したことで、価格点だけでなく、業務実績や提案内容など、水道事業者側の方針にあった委託業者を選定した点。

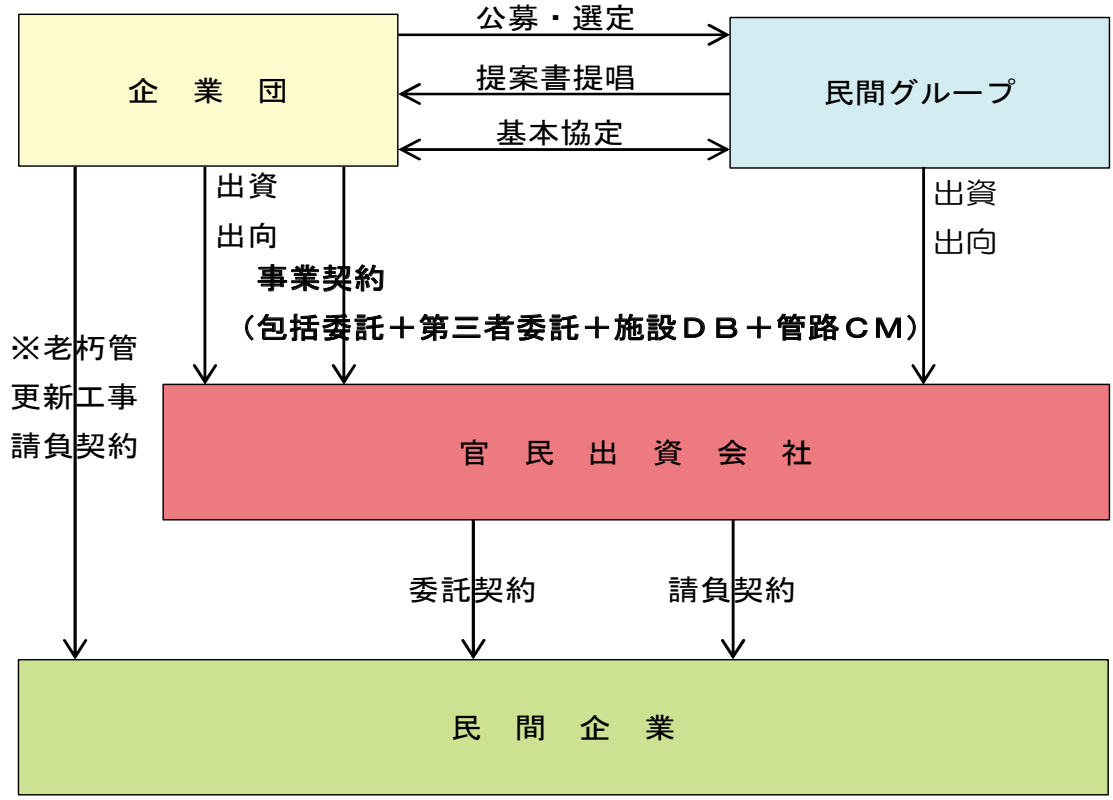
(2)今後の課題等

①職員の技術継承について

包括業務委託を実施したことで職員数が削減でき、経費削減、事業の安定化につながったが、その反面、委託業務を監理・監督する職員数も減少したため、人事異動に伴う職員間の技術継承が課題となっている。

なお、上記課題を解決するため、平成29年度から、群馬東部水道企業団と選定事業者が出資する官民出資会社を設立し、官民出資会社と事業契約を締結する新たな事業スキーム(包括業務委託＋第三者委託＋施設整備DB＋管路CM)による「群馬東部水道企業団事業運営及び拡張工事等包括事業」を実施する予定である。

事業スキーム図



※老朽管更新工事（施工）については、官民出資会社との事業契約に含めず、
従来どおり企業団から地元企業へ工事発注する。

〇問合せ先

担当課	群馬東部水道企業団企画課		
TEL	0276-49-5355	MAIL	kikaku@gtsk.or.jp